

< 目次 >

- 1 【家庭学習】北海道・東北ブロック主管課長会議の話題から
 - 2 【教振は今】教ちゃん、振ちゃん見聞録
 - 3 【編集後記】あつしのひとりごと
-

★ 教育振興運動イメージソング「Hand In Hand」を聴くことができます。

⇒ <http://www.pref.iwate.jp/~hp1595/HANDINHAND.html>

★ 「Hand In Hand」二部合唱の楽譜をダウンロードすることができます。

⇒ <http://www.pref.iwate.jp/~hp1595/kyousin/24handinhandgassyou.pdf>

1 【家庭学習】北海道・東北ブロック主管課長会議の話題から

「全国学力テスト」の結果が、常に上位にある秋田県。それを支えているのが、学校・家庭・地域の連携による取組です。中学校区単位で“親がすべきこと（共通実践事項）”を決め、それをやりましょうと奨励し、それをしっかりできた地区は学力を伸ばしていると、会議の中で秋田県教育庁の方から伺いました。

例えば、家庭学習ノートの使い方の工夫です。

家庭学習ノートには“必ず親がコメントを書いて、先生もコメントを返す（共通実践事項）”ということをおこなっています。また、家庭学習ノートを自分の子どもだけで使うのではなく、他の子どもにも回して使う「家庭学習ノートリレー」をおこなっています。ノートがリレーで回るということは、自分の書いた我が子へのコメントが、次の日には別の家庭で読まれるということです。

また、「家庭学習ノートリレー」は、必ず提出しなければ、次の順番の家庭に家庭学習ノートが回りません。家庭学習に取り組む子どもにも、コメントを書く親や先生にも責任が伴うようにしています。これらの家庭学習ノートは、保護者会で参加した保護者に公開しています。

このような取組により、親の家庭学習に対する意識が高まっています。家庭学習ノートが“親と子のコミュニケーション・ツール”となり、“親が家庭学習に関わることは、秋田では当たり前のこと”になっています。

振り返って、岩手県はどうでしょうか。「まなびフェスト」に明記し、「全県共通課題」に位置づけることで“子ども・親・先生・地域・行政がすべきこと”を決め、それをやりましょうと奨励しています。秋田県と一見同じように見え

ますが、秋田県の家庭学習ノートのように「しっかりできたか」を判断できる具体的な“すべきこと”を実践しているでしょうか。

また、秋田県の小中学校では相互に授業参観をしたり、校長先生や教頭先生が毎日授業参観をしたりしている・・・とのこと。子どもの学力向上には、授業力の向上が欠かせません。家庭学習ノートへのコメントの記入のみならず、先生方の切磋琢磨も教えるプロとして当然の“すべきこと”ということです。

秋田県の言う「しっかりできた地区は学力を伸ばしている」とは、「大人（親が、先生が、地域の大人）が本気になって取り組んでいる地域は学力を伸ばしている」という意味です。子どもの学力は、取り組ませる側の大人の問題であるということ、そして教育振興運動の5者のすべきことを具体的に決め、しっかり取り組めば学力は伸びるということを秋田県は証明しているのです。

<秋田県の家庭学習資料>

家庭学習時間⇒ <http://www.pref.iwate.jp/~hp1595/kyousin/24gakusyuiwaakizen.pdf>

わか杉っこ十か条⇒ http://www.pref.iwate.jp/~hp1595/kyousin/jirei_akita.pdf

2 【教振は今】教ちゃん、振ちゃん見聞録

(振ちゃん) ワン・ツー・スリー・・・。

(教ちゃん) ♪ひとは～、ひとりでは～、いきて～ゆけ～ない♪

(振ちゃん) ジャラ～ン♪

(教ちゃん) ♪ひとりで～は～、たのし～くなれ～ない♪

(振ちゃん) ジャラーン♪

(教ちゃん) ちょっと、振ちゃん。今のコード、違うわよ。

(振ちゃん) そんなこと言ったって、ギター弾くの初めてなんだから。

(教ちゃん) 頑張っ！2人で歌っている動画を送るのだからね！

(振ちゃん) あっ、教ちゃん。はじまっているよ・・・。

(教ちゃん) あら？オホホホホ・・・。皆さん、「Hand In Hand」二部合唱の楽譜はいかがでしたか。さっそく、学習発表会で発表を言うってくださっている小学校もあるのよ。ありがとうございます。

(振ちゃん) それでね。今回は、ギター・ピアノのコード譜をお届けすることになりました。CD音源（清心さんのキー）より半音高くなっていますが、弾きやすい簡単なコードにしています。ぜひ、弾き語りも楽しんでください。

コード譜 ⇒ <http://www.pref.iwate.jp/~hp1595/kyousin/handinhandkoudo.pdf>

(教ちゃん) キャンプの時にも歌えるわね。

(振ちゃん) そなんだ。僕も、今、ギターで弾けるように練習しているんだ。

(教ちゃん) そこで、お知らせです。「Hand In Hand」を歌っている動画を募集します。合唱、斉唱、弾き語り・・・歌唱形態は自由です。

(振ちゃん) 応募作品は、「まなびネットいわて」や教育振興運動の行事で紹介します。地域の合唱サークルの活動や演芸会での発表も大歓迎です！

募集チラシ⇒ <http://www.pref.iwate.jp/~hp1595/kyousin/24gassyouyoukou.pdf>

(教ちゃん) 楽しく、みんなで歌いましょう。さあ、1、2、3。

(振ちゃん) ダー！

3 【編集後記】あつしのひとりごと

「守れなくて、ごめんな。」お父さんが泣いた。

「そんなこと、この子は思っていないよ。」おばあちゃんが言った。

「おれの孫に生まれてきてくれて、ありがとうな。」おじいちゃんが言った。

限られた時間だけど、家族の・・・この子だけの・・・大切な時間。

笹原留似子さんの著書“おもかげ復元師の震災絵日記”の1ページです。どのページにも、大震災津波で亡くなられた方の“生きていた証”が記されており、涙が流れます。9月23日（土）、その笹原さんの講演会に行ってきました。

沿岸地域で300人以上のご遺体をボランティアで復元した笹原さんは、大事な亡き人のお話を聴かせていただきながら一緒に泣き、思い出話と一緒に笑いながら、遺族と思いをひとつにして納棺する参加型納棺を行っています。遺族の気持ちに寄り添い、最後のお別れのお手伝いをさせていただく。その“優しさ”が伝わってくる講演会でした。

9月17日（月）、宮古手話サークル“希望”の結成40周年祝賀会に出席した際、佐々木会長が挨拶で「大震災で活動停止が余儀なくされた沿岸地区の手話サークルが多い中、“希望”は震災3か月後の6月から活動を再開することができた。いつもの時間に、いつもの顔ぶれが集まれることがうれしかった。」とおっしゃっていました。まだまだ大変だけど、サークルの活動や仲間が心の支えになっているのだと思います。

金八先生の「君たち、いいですか。人という字はねえ、人と人とが支えあっているから人なんですよ。」というセリフが思い出されます。これらの“寄り添う気持ち”は、「いわての復興教育」においても大切なキーワードです。

9月8日（土）、北上市立上野中学校太鼓部の皆さんと一緒に陸前高田市のデイサービスセンターを訪問しました。海から遠い高台にあるように見えても、この施設も床上20cmの浸水だったそうです。ピエロが前座をおこなった後、太鼓部の演奏が始まりました。おじいちゃん、おばあちゃん、近隣の仮設住宅の皆さんが笑顔になりました。中学生の心の中も、優しさで包まれたことでしょう。

★メルマガの感想や日頃思っていること、意見・要望をお寄せください。

感想・意見・要望はこちら。 ⇒ 21kyoushin@gmail.com

⇒ 第78号は、10月9日（火）配信です。

★バックナンバー（第1～78号）はこちら。

⇒ http://www.pref.iwate.jp/~hp1595/kyousin/merumaga_backnumber.html

★全県共通課題（家庭学習と読書推進）の実践事例はこちら。

⇒ <http://www.pref.iwate.jp/~hp1595/kyousin/zenkenjirei.html>

★メルマガで紹介しました資料はこちら。

⇒ <http://www.pref.iwate.jp/~hp1595/kyousin/shoukaijirei.html>

～～～配信元～～～

*岩手県教育委員会事務局 生涯学習文化課

*発行人：教育振興運動担当 佐藤敦士（さとう あつし）

転送はご自由です。どんどん転送してください。ロコミは、あなたから始まります。「みんなでやろう！」という雰囲気をあなたから作りだしてください。

～～～